

問 19

A大学に通う4人の学生は、〇〇新聞に載っている「今月の運勢」の欄を読んで、自分の行動の参考にしています。4人の血液型について正しいものはどれですか。

今月の運勢

- A型** 今月は頭がさえて、アイデアが次々に浮かびます。大学の授業での発表も成功するでしょう。でも、忙しいので健康に注意すること。
- B型** 悩みごとや心配ごとが、たくさん生まれそうです。そんな時は異性の友達に相談しましょう。よいアドバイスをしてくれるはずです。
- O型** 無駄な出費が多くなりそうです。車やパソコンのような高い品物を買う場合は、よく考えてからにしましょう。
- AB型** 日ごろの努力が実を結ぶ月です。スポーツの大会や試験などに挑戦する人はよい結果が期待できます。忘れ物をしないように気をつけること。

山本 太郎（経済学部1年）：困ったことがあったら、友達の坂井さんに相談するつもりです。

高橋 理恵（文学部2年）：新しいノートパソコンを買おうと思っていたけど、来月にしようかな。

木村 直樹（工学部3年）：来週のサッカーの試合が楽しみだな。前日には持っている荷物をもう一度確かめよう。

坂井 純子（法学部1年）：今月はすべてうまくいきそうだな。病気だけはしないように気をつけなきゃ。

1. 山本さんがB型で、高橋さんがA型です。
2. 木村さんがAB型で、坂井さんがA型です。
3. 高橋さんがO型で、木村さんがB型です。
4. 坂井さんがA型で、山本さんがAB型です。

問 13 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

きちんと人に通じる、そしてオリジナリティがある文章を書くトレーニングとしておすすめたいのは、映画を見てそれについて書いてみることである。

映画を見て、いいと思えばそれをだれかに語りたくなる。その語りたくなるエネルギーを活用して、文章で表現してみるのだ。

映画は基本的に映像が主体であるから、まず、その映像表現を言語に変えていく時点で書くことの根本的な力が問われる。

また、映画はストーリー性もあり、2時間程度で完結しているので、書く素材として非常に適している。

それに比べると、読書感想文などは、書く力よりもむしろ読む力が問われるものだ。正しく読むことができているならば、一定レベルのものは書ける。

(A)、映画を見て書くとなると、映像を見て感じたなんとも言えない*モヤモヤした感情を言語化しなくてはならない。これは書くという行為の本質に近い。

何だかわからないけれど、自分の中に何かモヤモヤした何かがあるという状態がある。「書く」とは、そこに焦点を当てていく行為である。(齋藤孝『原稿用紙10枚を書く力』大和書房より)

*モヤモヤした：実態がはっきりしない様子

I (A)に入ることばは何ですか。

1. それに
2. つまり
3. ところが
4. したがって

II 文章を書くトレーニングについて、筆者の考えと合わないものはどれですか。

1. 映像表現を言語に変えていくことは書くことのよいトレーニングになる。
2. 読書感想文を書くことは、映画について書くよりもよいトレーニングになる。
3. 「書く」ということは自分の中のモヤモヤした何かに焦点を当てることである。
4. 自分の感情を言語化することは書くことの本質に近い。